

# 日本株式投資の魅力

## 好調な2014年4-6月期 企業業績

ご参考資料 2014年9月3日

日本企業の2014年4-6月期決算は、概ね好調となりました。市場の事前予想では今年4月に実施された消費増税の反動により減益になると見込まれていましたが、実際には増益となる企業が多く見られました。

### 事前予想を上回る4-6月期決算： 10四半期連続の増益

日本企業の4-6月期決算が発表され、法人企業統計によると、金融機関を除く全産業の経常利益は前年同期比4.5%増となり、10四半期連続の増益となりました。また売上高は前年同期比1.1%増となり、4四半期連続の増加となりました。2014年度の通期見通しについても、企業側の予想は依然慎重ですが、アナリスト予想では上方修正される企業が増えています。

### 今後の見通し： 株価が割安な銘柄が多く、豊富な投資機会

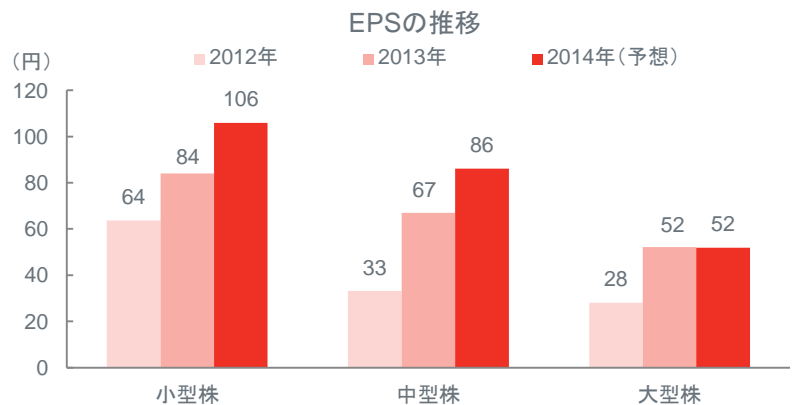
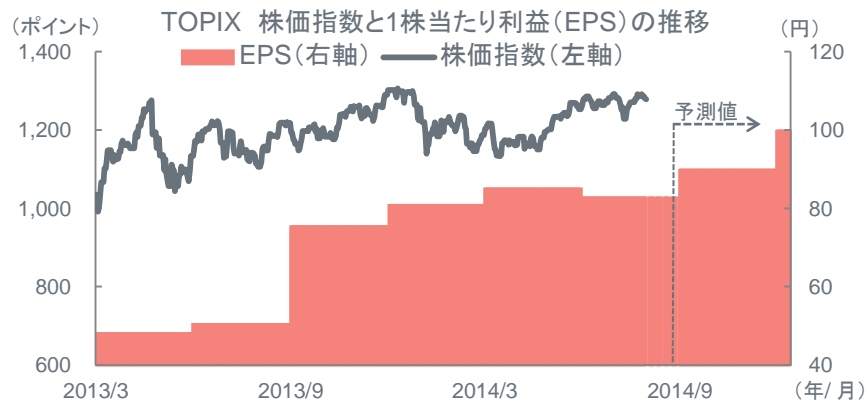
当社では経済ファンダメンタルズの観点から見ると、現在、日本株式の「買い」の好機であると見ています。

4-6月期、東証株価指数(TOPIX)の1株当たり利益(EPS)は前年同期比で64.2%増加、世界金融危機前の水準を回復し、2014年度下半期にかけて過去最高水準を更新することが見込まれています。

また、4-6月期決算において多くの企業が市場予想を上回る業績を発表し、自社株買いや増配も発表される中、株価はやや上昇傾向にあるものの、株価収益率(PER)は長期的に見ると低い水準で推移しています。

日本株については、相対的に割安な株価水準と株主重視の企業行動の両面から、長期的に強気の見方をしています。中小型株については、市場参加者の注目度合いが依然として低く、結果として株価が割安な水準に放置されている銘柄が多く存在することから、魅力的な投資機会が豊富にあると考えています。

出所：イーストスプリング・インベストメンツ(シンガポール)リミテッドおよび各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。  
※上記の内容は2014年8月末現在のものであり、将来変更される可能性があります。\*中小型株とは、一般的に、時価総額の大きい大型株以外の株式を指します。



※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

140902(04)